広報 妻籠宿

公益財団法人妻籠を愛する会　　令和３年５月２０日発行　No.138

（一石栃立場茶屋）

一石の桜はいつ見ても見ごたえのある木立です。
『サ神様（作神様・山神様）の御座（みくら）（座る場所）』という話はご存じの方も多いと思います。民俗学の話によりますと、「サ」のつく言葉はサ神様に関わる物が多いそうです。
例えば、皐月、五月女、早苗。まだまだ他にも農作業と神様のつながりを想像できる言葉はたくさんあります。皆さんもみつけてみてはいかがでしょう。
ずっと昔から自然と共に生きてきた人々の心にふれた気持ちになりませんか?

小笠原　美雪

「男埵山」分収育林皆伐の危機〈その２〉

理事長　藤 原 義 則

男埵山分収育林の特別委員会が設置され第1回委員会を1月28日、第2回を2月14日、第3回を3月7日に開催しました。

第1回は分収育林と男埵山の分収育林、山の地質、南木曽の気候、蛇抜けについてのおさらいをしました。昭和61年～63年の盗伐問題や災害の危険防止の観点での伐木反対運動についてです。

第2回は男埵川の蛇抜けの歴史、南木曽森林管理署の説明状況を確認しました。森林ジャーナリスト田中淳夫さんを招聘してのディスカッションについて討議が行われました。

第3回には分収育林の法律制定時、国会での参議院議事録の付帯決議の「ふれあいの森づくり」や森林管理署の施業方策、中部森林管理署管内での分収育林の競売状況等について討議が行われ、森林ジャーナリスト田中淳夫さんを交えてのフリーディスカッションを行い分収育林の現状や南木曽地域の国有林についても認識を新たにしました。その後現地視察も行い男埵山林道沿線には木曽五木の巨木の素晴らしい森があることに驚き、よく保存されたことに先人の思いに心を打たれました。中山道のすぐ脇にあるこの巨木の森を中山道のハイカー、特にインバウンドの欧･米･豪の人達に知らしめ、広く日本の木の文化の原点を知ってもらうことが重要との思いを新たにしました。さらに谷川を挟んで向かいの幼木の林が分収育林であることも確認できました。

3月17日の理事会で検討の結果、南木曽町長･議会議長へ分収育林及び男埵山の巨木の森について参与の伊藤寿子氏を紹介議員として、3月18日請願書を提出しました。なお議会からは3月30日付で継続審議との連絡がありました。

なお、田中淳夫さんの現地視察の記事が【「蛇抜け」の本場で進む伐採計画。土石流の歴史に学べ。】と題してyahooニュースにアップされています。（https://news.yahoo.co.jp/byline/tanakaatsuo/202103036-00227727/）御覧下さい。

（今回紙面の都合上蛇抜けについて記載できませんでした。次回にします。）

男埵山伐木に関する請願書（抜粋）

要旨

1 南蘭国有林（男埵山）分収育林の伐木計画が令和3年度及び令和4年度に予定されている状況です。下流地区の住民としては災害の誘発の危険があるので、関係機関へ働きかけ伐木をさせないでください。

2 南蘭国有林（男埵山）は重伝建の中山道に隣接しており分収育林の法律が審議されたおり「ふれあいの森林づくり」を積極的に準備する事が付帯決議されています。当国有林も世界に誇れる巨木の森です。この趣旨に基づき国民の健康促進や観光に積極的に活用されることを望みます。

［写真　上より］
椹の大径木・分収育林・林道拡幅時の切土

役員勉強会
２０２１年２月１４日

評議員　勝 野 雅 士

役員勉強会を開いていただきありがとうございました。今回、妻籠を愛する会の歴史、事業内容、収支予算などのお話を聞かせていただきました。僕が今回の感想文を書いてはいけないと思うほど、妻籠を愛する会の50年のたくさんの苦労、勉強をされて今の妻籠宿があることを感じました。2億ほどの資金調達をして、その利子を収入にする計画や、大手企業参入談などのお話には驚きました。

個人的には、この重要伝統的建造物群保存地区、妻籠宿はこれから時代が経つにつれてさらに価値のある物になっていくと思っています。他の県、町ではできなかった事を成し遂げ、今の妻籠宿をつくられた先輩方の今、5年後、10年後、50年後の野望をお聞きしたいです。楽しみにしております。

〈理事・評議員１８名が参加しました〉

尾又・恋野支障木伐採

妻籠地区の景観整備として、令和2年度元気づくり支援金を受けて、2･3月に尾又と恋岩の支障木伐採が行われました。大雪と橋梁工事による通行止めなどで工事が遅れていましたが、年度末に綺麗になりました。

〈伐採後の尾又傾斜地〉

〈恋野：恋岩での伐採作業〉

新型コロナウィルスと駐車場

常務理事　横 山　　純

昨年に続き新型コロナウィルスが蔓延する中、本年度が始まりました。少しずつではありますが、土日に関して妻籠を訪れるお客様が戻ってきた気がします。

ただ、団体旅行のお客様と海外からのお客様が依然として来れていない状況です。これからの情勢が一刻も早く回復することを願うばかりです。

駐車場の役割としては、料金の徴収だけでなく、妻籠の案内、南木曽町の紹介、周辺の道案内等行う上で、お客様に満足していただけるような接客を行い、環境整備等美しい駐車場にしていくことを考えています。

新型コロナウィルス感染症拡大防止対策を行い、妻籠の入口として、訪れる観光客に「妻籠に来て良かった」「また来たい」と思っていただけるようにおもてなしの心で迎えたいです。

東京２０２０オリンピック聖火リレー
妻籠宿を駆け抜ける！　2021.4.2

3月25日に福島県を出発した東京2020オリンピック聖火リレーは、4月2日桜吹雪の中妻籠宿を走り抜けました。コロナ禍の中1年待った私たちも、新型コロナウィルス感染対策に気を配りながら沿道で声援を送りました。写真で振り返ってみます。

〈松本志保里さんから中村優里さんへ〉

〈生活道路沿い：勝川実さん〉

【奥谷から地蔵沢】　　上松町　斉 藤 美 花

4月2日南木曽町を走らせていただきました。新型コロナウィルスが世界中に広がりオリンピックが1年延期になりましたが、今年になり予定通り行うということでとても安心しました。

たくさんの人の想いも詰まった聖火なのでトーチの重みと共に次へ繋ぐ責任を感じながら走りました。応援してくれている家族、観てくれている全ての人に感謝し、聖火もみんなの想いも笑顔で繋ぐことができたので良かったです。貴重な経験をありがとうございました。

〈斉藤美花さん家族〉

〈ゴールは武儀山舞さん〉

伝統行事に願いを込めて

妻籠観光協会　藤 原 恵 子

昔からそれぞれの意味を持ち、続けられてきた伝統行事。次の世代の人たちにも忘れないで繋げてほしいとの思いで、女性部が飾り始めて16年が経ちます。一昨年からは妻籠観光協会の行事として、会員たちがアイデアを出し合い、協力してきました。

中山道の宿場を守る私たちが力を合わせて行事を行うことの大切さ、そして大きな力になることを飾り続ける中で教えられました。昨年からの思いもよらなかったコロナ禍の中で、行事は全て中止となり、人の行き来もなくなり、止まってしまったような日々が続きました。それでも春になり少しずつですが、お客様の姿が見られるようになりました。こんな時だからこそ、皆の力で何とかしたいと思いました。

会員の人たちと話し合いを重ねた結果、妻籠に足を運んで下さったお客様へのおもてなしの一つとして、目で楽しんでほっとした気持ちになっていただきたいと、ずっと続けてきたひな人形、昨年できなかった五月人形を飾りました。

また、今年は「中山道姫街道を彩る」と題し、中山道で繋がる大井宿・中津川宿・落合宿・馬籠宿・妻籠宿の五宿連携同時イベント、つるし雛を、妻籠宿は南木曽町観光協会体験室に展示させていただきました。

お人形さんたちが、お出かけくださった皆さんの心を癒し、少しでも明るい気持ちになっていただくことを願いながら飾りました。

〈つるしびな〉

〈五月人形ふれあい館に展示中〉

林文二さんへ

理事長　藤 原 義 則

文二さん長い間お世話になりました。

令和3年3月2日に林文二さんが永眠されました。享年91歳でした。心から御冥福をお祈りします。林さんは昭和54年に「妻籠を愛する会」の会長に就任してから（財）妻籠宿保存財団、（財）妻籠を愛する会と組織を改変したその時々の会長、理事長に就任し、組織を纏め宿場保存と景観整備、組織の確立に尽力され今日の基礎を築き上げました。又平成12年5月理事長を退任されてからも今日まで顧問として陰に陽に40余年にわたり「妻籠を愛する会」を支えていただきました。この間全国町並み保存連盟の第2代会長をも務め、連盟の事務局を愛する会が担いながら今日の基礎を築きました。妻籠宿を町並み保存の原点として、国の内外に知らしめ高い評価を受けるようになりました。厚く御礼申しあげます。

最後に林さんが宮本常一氏の言葉を理事長退任の挨拶で述べられていましたので転載させていただきお別れの挨拶にします。　「地域というものは、外からの援助では決して良くならない。そこに実際に住んで日々の暮らしを送っているものが自らつくっていかなければ、決して良くならない。」　　合掌

〈妻籠宿保存５０周年記念式典にて〉

令和３年度
（公財）妻籠を愛する会事業計画

1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

(1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
(2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
(3) 統制委員会の研修
(4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
(5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
(6) 防災施設の点検・修理計画の推進
(7) 防災訓練の実施（文化財防火デーほか）
(8) 全国町並みゼミ等研修会への各役職員の参加・参画

2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

(1)「立場茶屋」（一石栃牧野家）建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
(2)「白木改番所」の史跡公園整備
(3) 中山道沿線の景観整備・松枯れ対応
(4) 所有建造物の維持管理・活用及び貸与等
(5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
(6) 空き家所有者の維持管理委託・改修の推進

3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

(1)「四阿」（妻籠城址・白木改番所）の維持管理
(2) 休息施設（ベンチ等）の維持補充
(3) ホームページ等による保存事業の情報発信
(4) 道標・説明板の見直しと更新
(5) 民俗資料の収集・公開・活用

4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事

(1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
(2) 第53回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
(3) 第45回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
(4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
(5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
(6) 妻籠及び木曽に相応した文化の伝承と開発・研究

5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

(1) 保有山林地の維持管理（スナジ・西山・尾又）
(2) 休耕地の景観整備
(3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
(4) 妻籠城址の環境整備
(5) 外来動植物の駆除

6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託および支援事業

(1) 町営駐車場管理事業
(2) 旧妻籠小学校周辺の管理

7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

(1) 木曽風景街道推進協議会との協働活動
(2) 木曽街道連絡会の事業の推進
(3) 関係団体との交流（国内外）
(4) 南木曽町観光協会との協働活動

8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

(1) 中央駐車場の経営及び環境整備
(2) 取得資産の有効活用

宿　場　暦

2月 6日：（第45回妻籠冬期大学講座:中止）
13日：（第14回氷雪の灯まつり:中止）
14日：役員勉強会（18名出席）、男埵特別委員会
20日：第38回ナショナルトラスト全国大会（オンライン）
17日：観協お雛様飾りつけ（ふれあい館）
22日：統制委員会、広報「妻籠宿」137号発行
24日：木曽学講座（ぞうりづくり参加・理事長）、信越放送撮影
26日：令和3年度元気づくり支援金ヒアリング（合庁・理事長）
27日：三役会
3月 1日：上下水道審議会（理事長）
5日：妻籠地域振興協議会役員会（理事長）
7日：男埵特別委員会（現地視察）
12日：木曽地域観光ガイド研修会（木曽町・案内人の会）
13日：三役会
16日：信州の歴史的まちなみネットワーク運営委員会（安曇野市・理事長）、広報部会
17日：理事会、一石入口道路舗装作業薪運び
18日：史跡中山道保存活用計画策定委員会（理事長）、聖火リレー連絡調整会議（理事長・常務）
22日：統制委員会
23日：日本遺産紹介冊子作成部会（木曽町・理事長）
25日：評議員会、博物館協議会（理事長）
4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付
2日：東京五輪聖火リレー・妻籠宿内
3日：倉科様祭礼（中止:お札のみ）
8日：日本財団事業完了報告書提出
9日：三役会
15日：子安観音祭礼（役員参拝のみ）
20日：統制委員会
22日：会計監査、広報部会
23日：妻籠宿案内人の会役員会・学習会
26日：太田副知事来宿

〈4/17　一石薪づくり作業〉

統制委員会審議事項

2月22日
・店舗及び土蔵庇・屋根修理（上町）　1件
・南木曽町聖火リレー事前予告看板（県）　1件
3月22日
・筍伐採（関電）　1件
・群状択伐（関電：渡島～橋場～一石）　8件
・電気工作物設置（関電：渡島鉄塔建替）　1件
・変圧器揚替え工事（中電：恋野）　1件
・携帯電話基地局設置（KDDI：細野山）　1件
4月20日
・雨戸・玄関等修繕（寺下）　1件
・電柱支線新設及び電柱・電柱支線撤去（中電：尾又）　1件
・配電線設備の保安伐採（中電：妻籠地区）　2件
・低圧線撤去、新設工事・引込線新設工事（中電：恋野）　1件
・カーブミラー設置（町安協：渡島）　1件
［その他］
・枯損木伐採（町・尾又：事前着工）
・緊急制水システム設置工事工期延長（関電）

【統制委員会からのお知らせ】
重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。
また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

令和3年度　妻籠分館行事予定

・役員年度始め総会	4月 11日（日）
・和智埜大祭準備手伝い	7月第3日曜日頃
・和智埜大祭子供神輿	7月 23日（金）
・育成部行事（夏休み）	8月　8日（日）
・敬老会お手伝い	9月第2日曜日頃
・区民運動会	10月 10日（日）
・木曽郡公民館大会	11月　8日（日）
・しめ縄をつくる会	12月 19日（日）
・町公民館大会	2月　6日（日）
・分館交流スポーツ大会	2月 27日（日）
・文化祭（前日準備含む）	3月　5日（土）
・環境整備	5月2日、6月13日、7月18日、8月22日、9月26日、10月24日（全て日曜日）

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
TEL:0264-57-3513（FAX兼用）

一石栃立場茶屋・子安観音桜だより

春の訪れとともに馬籠峠のハイカーも増え、一石栃にも活気が戻ってきました。コロナ禍の中で外国人ハイカーの姿がないのは寂しいですが、昨年度馬籠峠を歩いた日本人は前年度比53%と、移動規制の中の数字に少し驚いています。美味しい空気をいっぱい吸ってハイキングを楽しみましょう!

今年の桜は日本中早咲きでしたが、一石栃もご多分に漏れず、例年より早い開花でした。4月15日の子安観音の祭礼の日は見ごろでした。

今年も一堂に会することはできず、下り谷と愛会の役員数名だけでのお参りとなりました。来年こそは満開の中でお祭りができるといいですね。

〈女子中学生も歩いていました〉